

様式1

令和元年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	羽咋市デイサービスセンター		
指定管理者	はくい農業協同組合		
住所	羽咋市鹿島路町1788番地	選定方法	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
指定管理料	0千円(令和元年度現計予算額)		
評価担当課	地域包括ケア推進室		
年度重点目標	地域への広報や居宅介護支援事業者との連携などの強化を図り、利用者数の増加につなげる。		

評価項目		評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
			中間	年間		
1	職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A	-	現地/書類	出勤簿・タイムカードのコピー/勤務形態一覧表等により確認
		事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A	-	現地/書類	普通救命/高齢者虐待/福祉部会研修/食中毒/土砂災害/接遇/入浴等の研修に参加。その後、回覧、ミーティングで周知を図っている。
		指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	A	-	現地	全て直営
2	施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A	-	現地/書類	各種台帳及び業務日誌にて確認
		整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A	-	聞き取り 書類	毎日の業務後実施。そのほか、大掛かりな掃除などは、ボランティアなどの助けを借りて実施。
		法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A	-	聞き取り 書類	浄化槽(5/20.7/19.9/18)実施。ボイラー及び自動車関係の点検、修繕有り。水質については、11月と3月を予定。
		保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A	-	現地/書類	適切に実施。
		備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A	-	現地 聞き取り	問題なし。
3	サービス向上への取組状況 (アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A	-	聞き取り	昨年と同様の対応。 HPや行事案内等を配布する際に配布
		特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A	-	聞き取り	問題なし。 ただし、定員未満の状態が継続中。
		利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A	-	聞き取り	法人内の他事業所と合わせて毎年実施しており、今年度も後期(2月ごろ)に実施予定。利用者・家族の意見等を随時、要望書で受け付けている
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A	-	書類	苦情無し。 苦情対応マニュアル有り。
4	防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A	-	書類 (聞き取り)	避難訓練は公民館と合同実施 11月14日に総合訓練を実施予定
		リスクに応じた保険等に加入しているか。	A	-	聞き取り	利用者・職員、備品等の総合的な保険に加入証書は本店にて保管・管理。内容に変更なし。

評価項目		評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考	
			中間	年間			
5	個人情報保護の措置状況	個人情報は適正に管理されているか	A	-	現地	キャビネットに施錠して保管 開閉記録簿により使用者を把握	
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A	-	書類 (聞取り)	会計システムの勘定科目を細分化することで他事業との区分を図っている。同一法人が経営する他施設との共通経費があるため、単純経理化(通帳分離)は困難	
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A	-	書類	広報やサービス向上に努め、若干、上方修正となっているが概ね計画どおりとなっている。	
		定められた料金を適正に收受しているか。	A	-	書類	※未収金なし	
7	施設利用状況	前年同期と比較し、利用者数・施設稼働率等に著しい差異がないか。ある場合は、その原因は何か。	A	-	書類	広報やサービス向上に努め、利用者の減少を最小限にとどめている。	
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A	-	書類	適時提出(月報、実績報告)	
9	アンケート調査意見及び対応	利用者アンケートについては、年度末に実施予定。なお、日頃の業務においても、利用者の苦情・要望等を把握することに努めている。苦情対応マニュアルもあり、窓口は施設管理者、責任者はJAの管理職と苦情対応の体制も整っている。					
10	今後、検討・調整が必要な事項	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、冬季間など天候により利用者が減少する場合があるため、一層の利用者の確保への取り組みが必要。 ・経年劣化による施設の設備等に補修が必要な箇所が見られ、計画的な補修をしていく必要がある。 					
11	今後の管理方針	<p>地域と密着した事業を続け、利用者の増加を図っている。引き続き他事業所とのサービス内容の比較、サービス向上に向けた業務改善等を検証した上で、地域に対して積極的に情報提供を行うとともに地区組織との連携を強化し、利用者数の安定・増加につなげていく必要がある。</p> <p>設備等の経年劣化が見られ、大きな修繕費等の発生が見込まれるため、設備や備品の計画的な更新など、適切な施設管理が望まれる。</p>					
総合評価		中間評価	年間評価		平成30年度	平成29年度	
		A	-		A	A	